

My Story ~ 広響楽団員が音楽との出会いや広響との出会いを語ります。~



ヴァイオラ奏者
新谷 愛子

私が音楽に触れたのは生まれて間もない頃からで、家族の多く(母、祖父、祖母)が音楽家だった為、いつもピアノの音がしていた環境にありました。

そんな中でしたが、私がヴァイオリンを始めたのは遅めの10歳位でした。中学時代はよく広島市公会堂(今のフェニックスホール)に演奏会を聴きに行っていました。外国のオーケストラや、労音の演奏会などを聴くチャンスに恵まれ、次第にオーケストラに魅力を感じるようになってきました。

中学3年の秋、大阪で音楽高校生の演奏する姿を見て憧れ、是非その高校に入りたいと受験を決めました。そこが私の音楽人生のスタートとなりました。

その音楽高校から同じ音楽大学に進み、卒業後はすぐに広島に戻って来ました。先輩の勧めで広島市民交響楽団の団員となり、途中2年間は関東に嫁いで広島を離れましたが、主人の転勤で再び帰広してからは現在の広響にヴァイオリン奏者としてエキストラ出演していました。高関健音楽監督の時に、ヴィオラ奏者のオーディションを受け入団。この2月まで27年間ヴィオラ奏者として在籍しました。

オーケストラに憧れ、音楽の学校に進み、地元の広島交響楽団の団員で居られた事は、私にとってはとても幸せで幸運だったと心から嬉しく思います。そして、私がここまで続けてこられたのも、いろんな支えがあったからとの思いを強くしております。団員の方を始め、家族を含め改めて周りの環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

2月を以って広響を退団しましたが、これからも気力体力が伴う間は、何かの形で音楽を続けていきたいと思っています。これからは客席から、広響の個性あふれる団員の方々が醸し出す音色、響きを楽しませて頂きたいです。長い間 本当にありがとうございました。



チューバ奏者
盛田 正輝

本番前、ベルが会場に響いて、さあ我々の出番です。

ステージに出て、私は必ずする事があります。気持ちを落ち着かせるのに、客席全体を見て、知り合いが来ているか、お客さんの表情などを、ゆっくりと確かめます。そして大きく深呼吸!

…37年前のコンサートでは、お客さんよりもオケのメンバーの方が多く時多々ありました。コンサートの数も、月によっては1・2回の事も。私も最初は演奏者兼事務局員でした。楽器搬入、ステージのセッティング、演奏、片付け、楽器搬出…コンサートを開催してもらうために、学校まで足を運んだこともあり。当時は今ほど「広島交響楽団」の名前も知られていなかったのに、アポイントを取って行っても、門前払いのこともあり。お客さんに楽しんでもらおうと、見た目を工夫したり、擬音係…とかも(時にはやり過ぎた事も)…。

今はメンバーの演奏技術も素晴らしく、お客さんの数も増えてきて、幸せに思います。今まで一緒に演奏出来たことを、オケのメンバーに感謝します。そして、ステージマネージャー、裏方のメンバーや事務局のスタッフにも、ありがとうございました! と、心から言いたいです。

広響メンバーとしてのラストステージは4月29日の定期演奏会。最後まで頑張りますので、よろしくお願いします!

編集後記

広響創立50周年記念誌「ヒロキョウの教科書」はお持ちですか? 広響の歴史はもちろん、広島市の歴史にも触れた読み応えのある一冊です。楽団員のポートレート写真や、プロフィールで明らかになる意外な一面も! 誌面に関してのご意見ご要望は広響事務局までお寄せください!

公益社団法人 広島交響楽協会 (受付時間 平日9:00~17:20)

TEL: 082-532-3080 FAX: 082-532-3081 URL: http://hirokyo.or.jp E-mail: info@hirokyo.or.jp

TREND HIROKYO

トレンド広響

2014年 春号
No.76



公益社団法人 広島交響楽協会
〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル3F
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081
URL http://hirokyo.or.jp E-mail info@hirokyo.or.jp

「広島市民賞」受賞



3月10日(月)2013年度の広島市民賞受賞者が発表され、広島交響楽団と広島県出身者で初めて芥川賞を受賞した小山田浩子さん、ともに広島東洋カープで活躍した外木場義郎さん、大野豊さんが受賞しました。

広響は2013年度に創立50周年を迎え、定期演奏会のみならず学校での演奏等を経てきた功績が評価されての受賞で、広響にとって今回が初めてとなります。

3月20日(木)に広島市役所の市長公室で行われた授与式には、広響を代表して角廣勲会長が出席。松井一實広島市長から表彰状と記念品を受け取った角廣会長は「創立50周年を迎えられたのはこれまで支えてくださった方々のおかげです。このような素晴らしい賞をいただいたことで、改めて広響の存在を皆様に認識していただけることとなりました。楽団員、スタッフにとっても今後の大きな励みになります。」と感謝の言葉を述べました。

新コンサートマスター決定! 田舎雅秋の退任にともない、4月1日より佐久間聡一が第一コンサートマスターに、6月1日より蔵川瑠美がコンサートミストレスに就任することとなりました。

皆様の応援、よろしくお願いいたします。

1982年山形県出身。桐朋学園子供のための音楽教室仙台分室を経て、桐朋学園大学卒業。上野裕佳里、菊池恭江、野村謙介、木村恭子、藤原浜雄の各氏、またミュンスターにてHelge Slaatto教授、ハノーファーにてUlrich Schneider教授に師事。10代から演奏活動をはじめ、ソロのほか、日本青少年オーケストラコンサートマスター、桐朋学園オーケストラコンサートマスター、新日本フィル契約団員、大阪フィル2ndヴァイオリン・トップ奏者を歴任。2013年11月の大植英次「威風堂々クラシック in Hiroshima」でソリストをつとめる。2014年4月より広島交響楽団 第一コンサートマスターに就任。第23回霧島国際音楽祭特別奨励賞(サントリー賞)ならびに、優秀演奏賞受賞。

佐久間 聡一

1986年大阪市出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院入学。2008年東京芸術大学モーニングコンサートに出演し芸大フィルハーモニアと共演、2009年日本センチュリー交響楽団アシスタントコンサートミストレス就任、2011年NHK FM放送名曲リサイタルに出演。2011年、アフィニス夏の音楽祭広島、2012年同音楽祭山形に参加。大阪クラシックや豊中まちなかクラシックにおいて、ヴィヴァルディの四季全曲演奏等、室内楽で多数出演。広島交響楽団コンサートマスターのオーディションに合格し、2014年6月より同団コンサートミストレスに就任。ヴァイオリンを岡山潔、ジュラルブルー、松原勝也の各氏に師事。

蔵川 瑠美

御礼~創立50周年~ 受け継いだ「情熱」を次世代へ

2013年度は創立50周年として、多くの企業、個人の皆様からお祝いのご声援をいただきました。ここに改めて厚くお礼申し上げます。加えてテレビ、ラジオ、新聞などの各メディアでも多数取り上げていただき、より多くの方々に広響を知っていただく良い機会となりました。これもひとえに、いつも広響を見守り支えて下さるファンの皆様のおかげです。誠にありがとうございました。

2012年度から2年間にわたり皆様からお寄せいただきました「広響創立50周年記念事業への寄付金」の総額は28,434,875円(2014年3月31日現在)でした。いただきました寄付金は、記念定期演奏会4公演、謝恩演奏会、記念誌制作などに充てさせていただきました。皆様からのあたたかいご支援、誠にありがとうございました。そして、1月、2月は2008年から首席客演指揮者を務めたエヴァルド・ダネルとヘンリック・シェー



ファアの、3月は2005年からコンサートマスターを務めた田舎雅秋の最後の広響定期出演となりました。3公演とも、皆様からの惜みない拍手と激励の言葉を多くいただきました。今後の各氏のご活躍とご発展を心よりお祈りいたします。

また3月の定期演奏会では、終演後、松井広島市長より50周年シーズン終了にあわせて記念の花束をいた

だきました。広島市民賞の受賞もあり、広響にとってメモリアルイヤーに相応しい忘れがたい1年となりました。

松井市長から花束を受け取る秋山と田舎倉

さて、2014年度シーズンは、指揮活動50周年の音楽監督・常任指揮者の秋山和慶とともに、広島交響楽団楽団員一同、「情熱」をテーマにさらに皆様に素晴らしい音楽をお届けしてまいります。皆様の変わらぬご支援の程、何卒お願い申し上げます。





チェロ奏者 柳井 孝次郎さん インタビュー

平成26年1月末に広響を退団された柳井孝次郎さん。30年以上楽団員として広響を支え続けてきた柳井さんに、当時の様子や印象に残ったエピソードなどをお聴きしました。

♪音楽との出会いはいつですか？

兄がエレキギターを弾いていた影響もあって、小学生の頃はエレキバンドを組んでいました。自宅の離れには、ギターやドラムセットを揃えた練習場がありました。中学校では吹奏楽部に所属し、担当はトランペットでした。チェロとの出会いは高校1年生の時。私の住む町に作曲家の方がいらっしゃったんです。家に招かれ、そこで初めて弦楽器を見て触れて、レコードを聴かせてもらいました。その時、生まれて初めてチェロの音色を聴いたんです。小さい頃からロックが好きだったので、クラシックを聴くようになったのはチェロを始めてから。ロックとクラシックは意外と共通点が多く、クラシックを演奏していると「ロックよりもロックだな」と感じる場合があります。ロックの高揚感とオーケストラの高揚感なんかは似ていると思いますね。

♪入団当初はチェロがおひとりだったとのことですが、当時のエピソードがありますか？

初めての広響出演は1980年2月25日の第52回定期演奏会、まだエキストラとしての出演でした。NHK広島放送局のスタジオでオーデションを受け、同年の4月に正式に入団。入団後チェロが私1人だけと知り驚きました。当時は全体のリハーサルの前に、楽団員だけ(エキストラ無し)の事前合奏がありました。コントラバス3人に対しチェロは私1人だけでしたから、それはもう力が入りましたね。多勢に無勢、最後はけんか腰です(笑)全部ソロなので、緊張感は次第に麻痺して、闘争心が変わっていきました。

♪印象に残った指揮者やソリストはいますか？

第136回定期に客演した指揮者、ウラディーミル・フェドセーエフさんとの共演は忘れられません。とても有意義な時間でした。「シェエラザード」はそれまでも何度か演奏したことがありましたが、彼の新しい解釈に強い感銘を受けました。何気なく弾いていたところの裏側にある音楽やリズム…本場のロシアの指揮者が、我々外国人にはわからないロシアの景色を見せてくれたように思いました。ソリストでは、第100回定期のチョーリャン・リンさん(ヴァイオリン)。一番勢いのあった時期で、若さあふれる演奏が印象的でした。



1993年3月、ウラディーミル・フェドセーエフさん出演の第136回定期演奏会(柳井さんは写真右端)

♪演奏中の忘れられない出来事がありますか？

演奏会のアクシデントです。コンサート直前に本番用の黒靴を忘れたことに気づき、悩んだ末、靴の上から黒い靴下を履いて出ました。遠くからみると黒い靴に見えるんです。近くで演奏するチェロのみなさんには「真剣な曲なのに笑ってしまう!」と迷惑をかけてしまいました。

♪音楽以外に、続けられていることはありますか？

プロ改組35年誌“Listen plus”にも「幼少の頃より、大人の飲む蒸留または発酵の液体に興味を持つ…」と記しているとおり、昔からお酒が好きです(特に焼酎)。若い頃は色々な師匠がおり、仕込まれたものです。体調に気を付けて、これからも仲良くしていきたいです。

♪最後に、広響ファンの皆さんにメッセージをお願いします。

入団当時チェロが1人だけだった広響も、今では立派なオーケストラに成長しました。これもひとえに、いつも演奏会に足を運んで下さる皆さんのおかげです。これからも広響の応援をよろしくお願いします。長い間お世話になりました。

広響NEWS

入団のおしらせ

- ファゴット奏者の廣幡敦子が平成26年3月1日付で入団しました。本人からのメッセージです。

「この度、まだ駆け出しの身である私を迎え入れて頂きました広島交響楽団の皆様方に感謝致します。中学校の吹奏楽部で顧問に勧められ偶然出逢ったファゴットですが、それ以来苦楽を共に歩んで参りました。また、広島は、岡山県出身の私にとって、何度も訪れた思い出の地です。そのような場所でまたファゴットを演奏し続けられることを本当に嬉しく思います。この喜びを音に乗せて、音楽の素晴らしさをお客様にお届けできたら幸いです。」



- バストロンボーン奏者の武崎創一郎が4月1日付で入団しました。本人からのメッセージです。

「広響ファンの皆様、はじめまして! この度バストロンボーン奏者として入団する事になりました、武崎創一郎と申します。この度は、広響メンバーとして皆様に迎えて頂ける事、本当に嬉しく思っております。私は初めて広島に住む事になるのですが、この心暖まる土地で生活できる事や、この素晴らしいオーケストラでの演奏を通して皆様と共有できる時間、本当に楽しみです。皆様にこれまで以上のご愛顧を頂けるよう、精一杯努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。」



退団・退任のお知らせ

- チェロ奏者の柳井孝次郎が1月27日付で退団いたしました。本誌のインタビュー記事をご覧ください。

- ヴィオラ奏者の新谷愛子が2月28日付で退団いたしました。本誌の「MyStory」をご覧ください。

- コンサートマスターの田野倉雅秋が3月31日付で退任いたしました。本人からのメッセージです。

「2005年から約10年、ファンの皆様をはじめ、秋山音楽監督、当楽団員、事務局スタッフに支えられ、本当に充実した年月を送ることができました。広響は私をプロの音楽家として厳しく、あたたかく育ててくれたかけがえのない存在です。そして広島は私の第二の故郷となりました。私はこの街にこれからもずっと、広響の『美しい平和の調べ』が響くことを切に願っております。そのためにもどうか末長く皆様の熱い応援を宜しくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。」



「秋山和慶指揮活動50周年」 記念セット券販売中!

指揮活動50周年を迎える秋山がタクトをとる「第341回定期演奏会(7/11)」「第345回定期演奏会(1/23)」「秋山和慶のディスカバリー・シリーズ第10回ニューヨーク(9/12)」の各A席を3枚セットにして、9,600円の特別価格にて販売しています。天使のようなあどけなさで美声で聴衆を魅了する小林沙羅。第5回仙台国際コンクールピアノ部門の覇者ソヌ・イエゴンを迎えてラブソフィー・イン・ブルーなどをおくりします。詳しい公演内容と、セット券のお申込みは広響事務局まで。200セットの限定となりますので、お早目にお申込みください。

※お席はお選びいただけません。複数お申し込みの場合、並び席等の配慮はさせていただきます。

音楽の芽プロジェクト 広響ポップス in 福山「みんなの街」応援コンサート ～寄付金贈呈式

2013年11月15日(金)にふくやま芸術文化ホールリーデンローズにて行った、「広響ポップスin福山『みんなの街』応援コンサート～with布施明～」の収益金3,928,300円を福山地域の福祉団体に寄贈しました。

2月3日(月)に福山市役所にて行った贈呈式では、寄付を受ける「福山市」、「福山市社会福祉協議会」、障害者の就労支援に取り組む「トータルライフサポートふくやま」の各団体の代表者に広響の金田幸三理事長が目録を手渡しました。後日、福山市社会福祉協議会からは、福山市が推奨する“ローズマインド”いっぱい「ばらグッズ」を寄付のお礼としていただきました。

P3 HIROSHIMA 広島県警防犯ポスターに秋山音楽監督が登場!

広島県警察が、P3HIROSHIMAを起用した防犯ポスターを作成しました。広響秋山和慶音楽監督、サンフレッチェ広島の佐藤寿人選手、広島東洋カープの前田健太選手を連想させる「奏・攻・守」がコンセプトで、「Safety(安全)」の頭文字「S」を大きくあしらったポスターには、公募で選ばれたキャッチフレーズとともに、自転車のツーロックや特殊詐欺など注意を呼びかけます。ポスターは全3種類。広島県内の警察施設や公共交通機関、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなど約2,200ヶ所掲示される予定です。

入場無料 公開練習のお知らせ

[場所] アステールプラザ内オーケストラ等練習場
[時間] 10:30～16:00

広響の活動をより多くの方にご理解いただくため、定期演奏会の練習を公開しております。コンサートまでの音づくりの現場をご覧いただけるまたとない機会です。お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。(就学前のお子様の同伴はご遠慮ください。)

4月の予定	4/26(土)・27(日)・28(月) [内容]第338回定期演奏会(4/29)のリハーサル	5月の予定	5/20(火)・21(水)・22(木) [内容]第339回定期演奏会(5/23)のリハーサル
6月の予定	6/17(火)・18(水)・19(木) [内容]第340回定期演奏会(6/20)のリハーサル	練習中は随時入退場できますが、昼休憩の間はご入場いただけません。また、練習は早く終了する場合がございます。予めご承知おきください。	

移動音楽鑑賞教室 6/10(火) 広島中央特別支援学校音楽鑑賞教室 6/11(水) 三原市音楽鑑賞教室

※入場は関係者のみ

第13回理事会・臨時総会の開催について

3月7日に第13回理事会、3月25日に臨時総会を開催しました。理事会では、臨時総会の招集および会員規程の改定、平成26年度事業計画・予算の一部変更等が承認されました。臨時総会では個人正会員会費の改定が承認されました。

年間定期、前期定期、 ディスカバリー、名曲コンサート

会員募集中

定期演奏会をいつも同じ席で聴きたい!(全11公演)	年間定期会員	S席37,500円	A席33,500円	B席29,500円
4月から7月までの定期演奏会を同じ席で聴きたい!(全4公演)	前期定期会員	S席16,500円	A席15,000円	B席13,500円
定番曲だけでなく、隠れた名曲も聴きたい!(全4公演)	ディスカバリー会員	S席16,600円	A席13,400円	B席10,200円 学生3,200円
<small>※その他広響会員に入会されている方は割引料金になります。</small>				
クラシックの醍醐味を、華やかな会場で味わいたい!(全3公演)	名曲コンサート会員	S席8,800円	A席6,700円	